

まなびやまと



教育長就任挨拶

10月1日付けて教育長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひします。

いま、教育界は改革という大きな流れの中にあり、生涯学習・学校教育ともに多くの課題を抱え、その対応・実現に取り組んでいます。

生涯学習では、市民のニーズに応えられる学習の場や機会の提供・支援が課題となります。公共施設の改善や学校施設開放の拡充などを当面の取り組みとしています。

また、平成14年度に各中学校区毎に発足した「家庭・地域教育活性化会議」は地域の子どもは地域の目と手で育てることを目標にスタートしましたが、今後、ますます重要性が大きくなるものと思っています。ご支援ください。

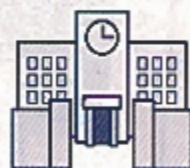
学校教育では、平成14年度より完全実施された新しい教育課程の定着が大きな課題となります。各学校では「基礎基本の定着」と同時に「自ら課題を発見し、自分の力で解決する」という、生涯学習時代に対応できる「生きる力」の育成をめざして、創意工夫された学習活動が進められています。新しい学習活動の定着が、日本の学校教育の弱点と言われていた「創造力・思考力」の増進につながるものになることを期待しています。そして、子どもたちが、変化の激しいこれからの社会の中で、豊かな心を育み、創造力を発揮することを願っています。



教育長 國方光治

はじめの一步

地域に根ざし、
地域の未来を担う学校づくり



文化発表会に地域のみこしも参加

渋谷中学校は平成16年4月、現在進められている渋谷土地区画整理事業に伴い、旧下和田小学校跡地(下和田49)へ移転します。移転前に、学校では様々な行事を企画、実施し地域との融合を新設校でも引き継ぐ努力をしています。

25年前から始まった吹奏楽部や生徒会による老人ホームへの訪問ボランティア活動は、ホームから好評を博しています。地域でも、生徒達のボランティア活動に応えるように、平成12年から始まった市内初の職業体験学習の受け入れをしてくれています。

職業体験学習「トライワーク」は進路選択を控えた2年生が、美容院や花屋などに出掛け、仕事を手伝い働くことを体験する中で、自分の進路について真剣に考えることを目的にしています。「体験した子ども達は、表情が変わって行儀がよくなった」と、学校を始め地域の方々には話しています。

このような生徒と地域のつながりの強さは、長い時をかけて培われたものです。新しい渋谷中学校は「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」をテーマに、地域と学校が共生し、ともに学べる学校をめざします。同校のこれまでの伝統の上に、さらに新しい歴史が刻まれていくことではないでしょうか。

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。年2回の発行を予定しています。気軽にお読みいただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



南林間家庭・地域教育活性化会議

子ども南林間サミット



わが町子どもクリーン大作戦



市内9地区に「家庭・地域教育活性化会議」があります。この会議は地域の方々が主体となって運営し、学校・地域・家庭の連携を高めると共に地域ぐるみで青少年の育成を推進し、様々な社会問題にかかわっていく街づくりをめざしています。

この活動も2年目を迎えました。昨年12月7日(日)に南林間家庭・地域教育活性化会議がおこなった「わが町子どもクリーン大作戦」では、緑野小学校・南林間小学校・西鶴間小学校・南林間中学校・大和西高等学校と各地域の方々が参加し大規模なクリーン作戦が展開されました。

このクリーン大作戦は、子ども会議で



出された「もっときれいに、住みよい街にしたい」という子ども達の願いが活性化会議のバックアップで実現した清掃活動です。昨年5月に第1回目の会議を開き、6・7・9・10・11月と計6回の会議を通して実施されました。南林間中央公園・緑野小学校校庭・西鶴間小学校校庭から南林間中学校校庭までの様々な通りをきれいにするという大がかりなものでした。

さらに南林間中学校では、中央公園の他、自校の校庭にも生徒が集まり、校庭の側溝清掃や環境整備をおこないました。中央公園から南林間中学校校庭までの清掃の他、南林間駅前の清掃をおこないました。



種類別ゴミ状況



- 燃えるゴミ (紙くず・落葉・枯れ枝等)
- 燃えないゴミ (ガラス等)
- リサイクルできるゴミ (ビン・カン・ペットボトル等)

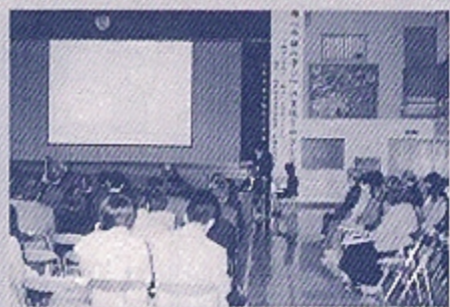
単位 袋

集まったゴミの量 (2tトラック満載)



市教育委員会の研究校として、14年・15年度総合的な学習と生活科を研究してきました。11月14日には、本市、近隣市の教職員に向けて公開授業と研究発表を行いました。研究テーマは「自ら考え、進んで行動できる子どもをめざして」仮説「子どもの思いや願いを大切に、身近な学習素材を生かした体験活動や問題解決学習を重ねることによって、更なる興味・関心がわき、子ども自身が学びをつなぎ、自ら学ぶ力がついていくのではないか。」をもとに、子ども達がどのように考えを広げ、課題化し、追求の手立てをどう求めていくかを公開授業としました。

全体会では、仮説の検証手立てを中心に基調提案を行い、講師の横浜国立大学助教授加藤先生から「本物の学び」の実現をめざして「下福田小学校の総合が発信するもの」の演題の講演で「本物の学び」について提案をいただきました。参加者から、提案が具体的に明日の授業に活かせる、理論と実践が一体化していて児童がどのように学びを広げ深めてきたかわかりやすかった、などの評価を得ることが出来ました。今後も、教師は子ども達の思いに寄り添い、子ども達は自らの力で課題を広げ、追求する学習を通して「本物の学び」を生きる力につなげる学習の有り様を求めて行きたいと考えています。



＝ 研究全体会 ＝

5. 下福田小学校の研究とは・・・

【実践研究の内容】

- ・カリキュラムの開発研究
- ・子どもの「学習経験の課題」としてのカリキュラム
- ・授業づくり(学習指導法)研究
 - ・協働性と活動性に配慮した授業づくり
 - ・認知的部分を具体化・実践化する学習活動の試行
- 【研究途上の段階である】学習評価の研究
 - ・「つけたい力」を評価基準として行う。
 - ・評価活動の具体化

「総合」の授業づくりから、「教科」の授業改革へ

発信 下福田小学校

学校農園で

秋の収穫を体験



開校以来地域の畑を借用し、作物を育てる体験を通して多くの学びを25年間続けています。昭和59年には、文部省「勤労生産学習研究指定校」の発表を行い、平成4年は異学年で協力して、植え付け、世話の仕方、収穫祭等の計画、活動から子ども達の世界を広げ、助け合う心を育てようと考え、児童指導について市指定研究発表をおこないました。



平成13年からは総合的な学習や教科学習と関係づけて体験を続けています。

今年夏は夏の異常気象と台風の影響で低学年のとうもろこしと3年生の大豆が不作になってしまいました。このことから、自然の大きな力を感じる事が出来、今までと違う面での学習が出来ました。サツマイモは例年並で、収穫のあと、1年生とコスモス級は夏を利用してリースをつくり、3年生は芋館を焼きたて、4年生は社会科学習、昔の生活の単元と合わせ、泉の森民家園のかまどで芋ご飯にいただきました。ここにも地域の方の協力をいただき、楽しく貴重な経験が出来ました。

みんな仲良くながよし in 泉の森 — 文ヶ岡小学校の全校遠足 —

10月24日、すばらしい秋空が広がる泉の森で、文ヶ岡小学校伝統の異学年縦割りグループ活動のメインである、全校遠足「ながよしin泉の森」がおこなわれました。

昨年度より総合学習の中にも位置付け、泉の森の自然を活かした活動を各グループで考案し、6年生が中心となり、当日へ向けて準備を進めてきました。当日は、全校を大きく2つに分け、互いのゲームを交互に行い、楽しみ合いました。小川を生かした魚釣りゲームや茂みを利用した宝探しゲームなど、ユニークな遊びをするために、高学年の児童が低学年の手を引いて回る姿は、ほほえましい光景でした。



— 小川で魚釣りゲーム —



いろいろな知り隊！海外のこと（国際理解教育）

林間小学校広報誌「ふたば」

林間小学校PTA広報委員会では、子ども達だけでなく保護者や地域が、いろいろな国を身近に感じ興味をもてるようになる広報誌を作りました。

林間小学校にはイラン、中国、台湾、香港、ドミニカ、ペルーの子ども達をはじめ帰国子女も多く通ってきています。地域と共に外国の人々を支え、共によい関係を作り上げるために、広報誌「ふたば」39号（12月19日発行）では、各学年の行事紹介の他、外国籍の保護者の方々の

協力のもと、「いろいろな知り隊！海外のこと」で各国の文化・あいさつ・遊び・生活習慣について特集しました。

生活の紹介では中華人民共和国のスパアリブと大根のスープをはじめ、各国の料理のレシピなどもあり、作って食べたくなるものが多く紹介されています。国際理解の輪を、子ども・学級・学校・地域へと広げる努力が様々な形で行われています。

国際交流（母国の踊りを紹介）

下福田中学校の国際教室では、ベトナム、ラオス、カンボジア、中国、イラン、ペルー、ボリビア、コロンビア、アルゼンチンといった国々の生徒達30名が学んでいます。国際教室では、日本語や数学、英語等を学習しています。学習以外に、年2回の国際交流会、文化祭への参加もしています。交流会には日本人生徒も多く参加しています。文化祭では、スピーチやダンスを発表しています。

また、外国籍生徒達は2年生になると、選択授業の時間に、母国の地理や歴史について学習します。地域のポランディアの方たちの協力を得て、学習を進めています。



移転校舎の一般見学会を行います

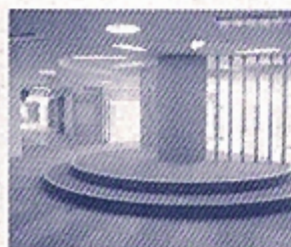
～渋谷中学校～

平成16年4月1日から下和田小学校跡地に移転し、新たなスタートを切る渋谷中学校で、新校舎の一般見学会を行います。「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」をめざした新しい渋谷中学校に、ぜひお越しください。

【日時】

平成16年3月20日（土）
午後1時から午後3時まで
平成16年3月21日（日）
午前10時から正午まで、
午後1時から午後3時まで

*駐車スペースがありませんので、お車での来校はご遠慮ください。



ふたば



Q. 日本のジャンケンと同じゲームはありますか。

- アメリカ ☆ ロウキザン・ネバー・シュート（ローキ）
- イラン ☆ ジャンケン・ポン
- 中 ☆ ☆ ツクス（又は シトウ）・ジンドウ・フー
- 日 ☆ ☆ ツイ・チュエン
- 日 ☆ ☆ チョン・チャン・モウ・ゴク・チー・シュー・バク
- ドミニカ ☆ 紐ヒキ（ローキ）
- フィリピン ☆ ショック・エン・ゴイ
- ペルー ☆ ジャンケン・ポン



Q. 子どもの気持が表けた話 どのようにしますか

ペルー Hondolante cancion de los niños. Cancion.	イラン Pichideh.
フィリピン "Pangasinan" Cancion.	アメリカ "The Little Boat" Cancion.
ドミニカ "Cancion" Cancion.	フィリピン "The Little Boat" Cancion.